

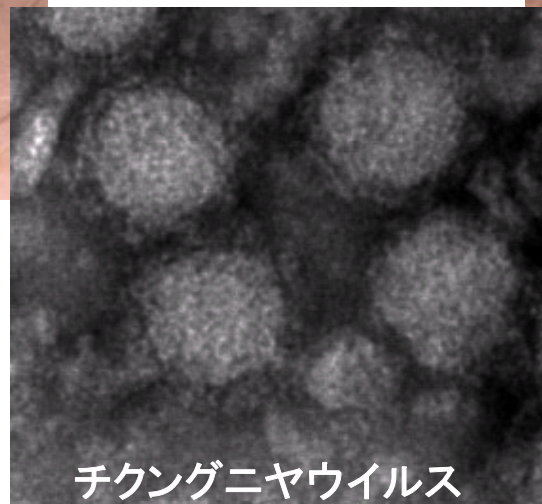
アルボウイルスレファレンスセンター会 議報告_2012



ヒトスジシマカ



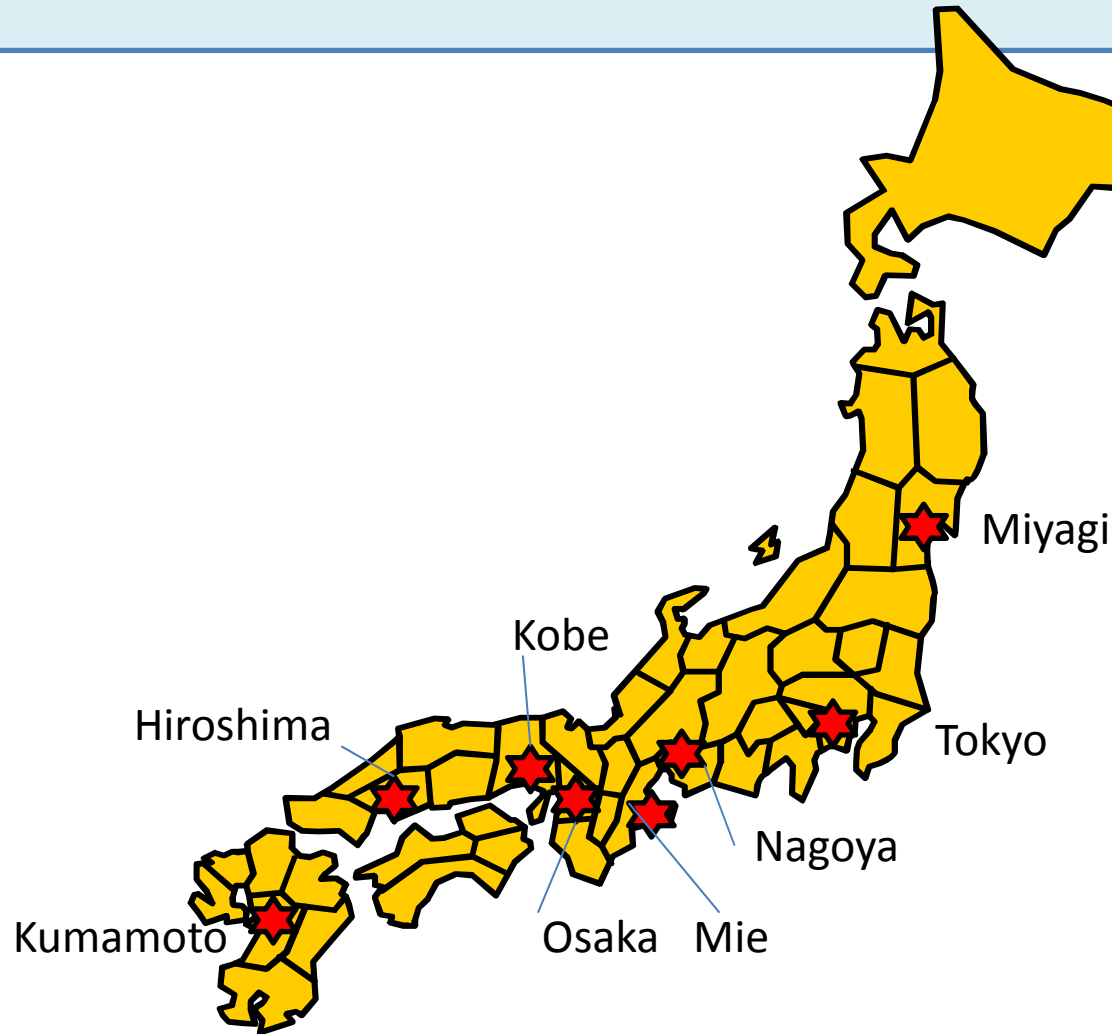
ネッタイシマカ



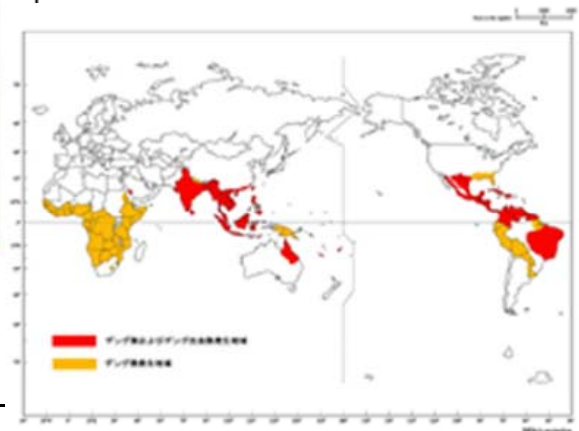
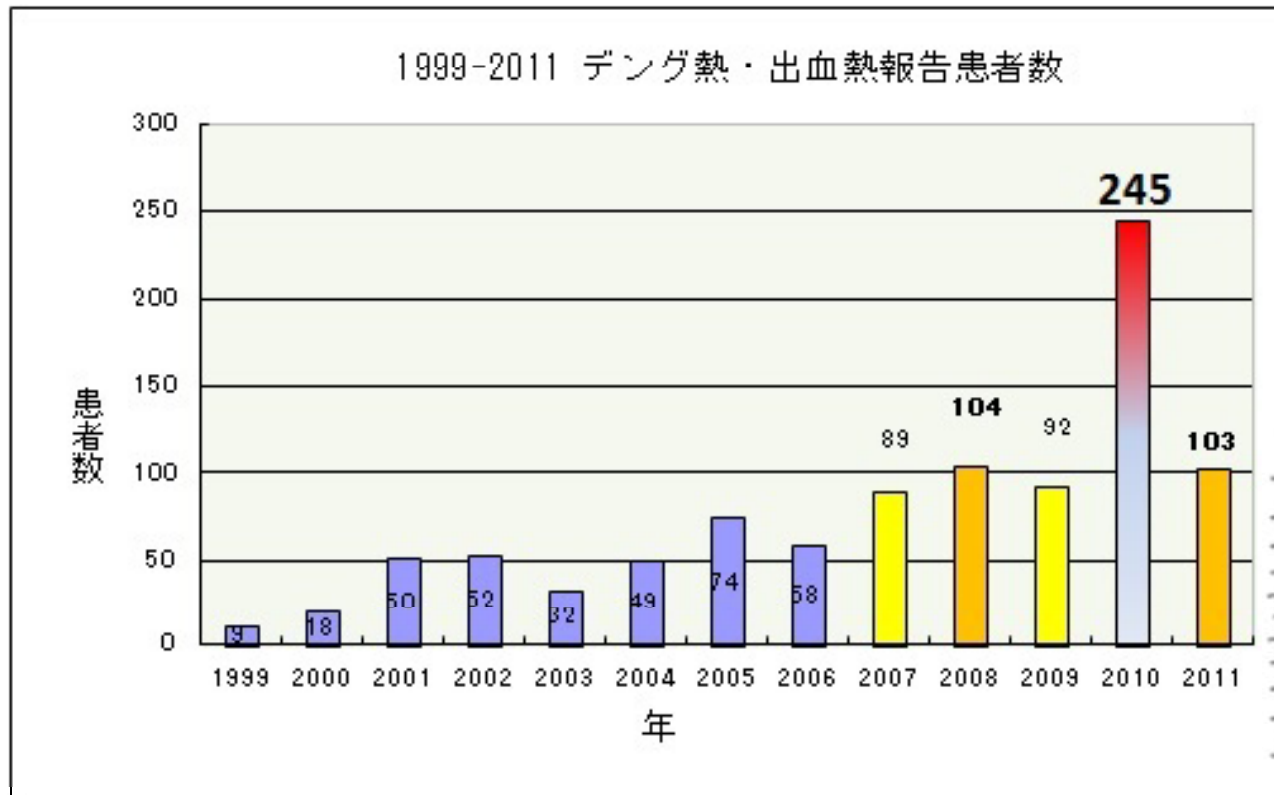
チクングニヤウイルス

2012/6/29
国立感染症研究所
ウイルス第一部
高崎智彦

Eight arbovirus centers in Japan



デング熱輸入症例と流行地域



デング熱輸入症例数は増加傾向にある(今年は6月17日ですでに58症例を超えている)。日本人旅行者による単発輸入症例だけでなく、海外からの移住者による複数発症例の報告がある。

1) 日本脳炎ウイルスサーベイランスについて

中国、韓国で日本脳炎ウイルス遺伝子5型が検出されているので、我が国でも積極的にウイルス分離を進めたい。

2) ロスリバーウイルス(ロスリバー熱)検査について

本年度中に入手する予定である。

3) 国内デング熱EQA実施について

デングウイルス新鮮分離株2株(抽出RNA)

チクングニアウイルス株1株

ウイルス陰性血清2

報告はサンプル受領後3週間以内

8センター以外に4施設程度を加えたい。

5) デングウイルスNS1抗原検査使用法について

- RT-PCRと併用可である。
- デングウイルスNS1抗原ELISAの特徴：発病2日目まではrealtime-RT PCRに比べて感度が劣る場合がある。
- NS1抗原はウイルス遺伝子検査よりも長期間（解熱後も）検出可能である。また、特異性に問題はなく、発病3日目以降でNS1抗原陰性・PCR陽性の場合はPCRのコンタミの可能性も考慮すること。
- NS1抗原迅速診断キット（イムノクロマト法）も血清を使用するキットは使用可である。ELISA法より感度は劣るが特異性はOKである。全血でも検査可としているキットは用いない。
- ウイルス型別は判定できない。